

インタビュー 家族に迎えて

センターから譲渡されたワンコ
その後、どうしていますか？

ジョージイがいることが幸せです
京都市 川口さん



▲幸せだね！ジョージイ

「犬を迎えるなら保護犬を」と、当初からお考えだった川口さん御一家。あえてセンターに長くいたジョージイを家族に迎えてくださいました。

それから10ヶ月。はじめは少し要求ぼえもありましたが、今では「困ることは一切ないです！」と笑顔で言い切ってくださるほどお利口さん♪

「みんなで寝ているとくついてくるんです」

と話す御夫婦に見つめられると

ても幸せそうなジョージイ。
「犬を飼おうか検討されている方は、是非、まずはセンターを覗いてみてほしい」とおっしゃっておられました。(A.O)

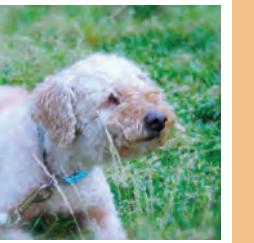
▲息もピッタリ♪家族写真



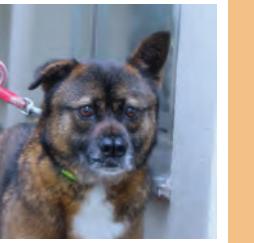
コビイ 15歳 オス 9kg



アロー 推定4~6歳 メス 25kg



ブーさん 14歳 オス 8.8kg



ボニー 推定4~5歳 メス 12kg



育太 推定4~7歳 オス 15kg

京都動物愛護センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩5分
- 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
- 京都市営バス 十条大宮停留所から徒歩5分

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地
TEL: 075-671-0336
FAX: 075-671-0338
開所時間: 午前9時~午後5時
休所日: 木曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始

Facebook → <https://www.facebook.com/anilove.kyoto/>
Twitter → <https://twitter.com/kyotoaniilove>



京都動物愛護センターLINEスタンプ第2弾発売中



本紙は“京都市動物愛護事業推進基金（人と動物が共生できるまちづくり基金）”からも出資しています。動物愛護推進基金に寄附していただいた方のうち、希望者はホームページに公開しており、ふるさと納税の適用も可能です。なお、寄附の方法についても、こちらのホームページでご覧いただけます。
<http://kyoto-ani-love.com/>

犬猫の飼い主さん募集

～新しい飼い主さんになっていただけませんか？～

センターでは、引き取った犬猫のうち、適性があると判断した犬猫を希望者に譲渡する制度があります。犬や猫の譲渡を希望される方は、是非センターまでお問合せください。ただし、犬や猫の譲渡には、以下の条件がありますので、あらかじめ御了承ください。

譲渡できる方の主な条件

- ・京都府域にお住まいの成人で、譲渡希望者が飼い主となること。
- ・ペットの飼養が制限されていない住宅にお住まいであること。
- ・飼い主として責任を持ち、家族の同意を得て、家庭で犬や猫を適正に終生飼養できること。

毎月

第2土曜日
13時～15時
犬の譲渡会
(見学会)

を開催しています



手続の流れ

- ① センターに所定の申込書等を提出（郵送でも可）
- ② 希望の条件に合う譲渡可能な犬猫が収容された場合、センターから電話で案内
- ③ センターで実際に対象となる犬又は猫と面会
- ④ 犬又は猫の引取りを決めたら、譲渡に当たって必要な書類に記入後、譲渡

※マンション等の集合住宅にお住まいの方には、ペット飼養が可能である旨を記載した契約書等を確認しますので、あらかじめ御了承ください。

注意いただきたい点

以下のことを御理解ください。

犬や猫の受入れに当たり、即断する必要はありません。犬や猫は15年以上生きることもあります。終生飼っていただくためにも、御家族と相談し、十分に考慮したうえで、御決断ください。

この制度は、お申込みいただいた方全員に紹介できないこともあります。また、申込みにより引受け義務は生じません。犬や猫の受入れを希望される方と保護された犬や猫の“縁のかけ橋”となるものです。



ぼくたち
暮らしませんか？

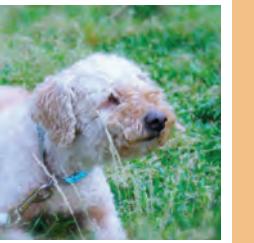
詳しくは、ホームページをごちらから御覧ください
※既に譲渡先が決定している場合があります。



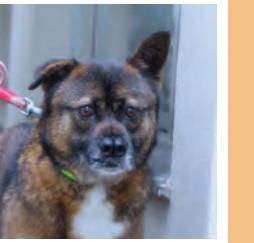
コビイ 15歳 オス 9kg



アロー 推定4~6歳 メス 25kg



ブーさん 14歳 オス 8.8kg



ボニー 推定4~5歳 メス 12kg



育太 推定4~7歳 オス 15kg

京都動物愛護センター 機関紙

愛ランド通信

—人と動物の共生を目指して—



令和元年度 夏号

特集 動物愛護教室 ~現地レポート~

命の尊さを感じる体験

動物お悩み相談室

爪切りは必要ですか？

ペットのためのマナー&ルール

犬のお散歩マナー

～リード編～

センターニュース

3期ボランティア卒業式・
名誉センター長 基調講演

インタビュー 家族に迎えて
ジョージイがいることが幸せです

モデルの子：ソーダ 推定1歳 メス

特集 動物愛護教室 ~現地レポート~ 命の尊さを感じる体験

実際に声を出してしっかりとできました。幼い頃からペットと一緒に生活を経験している子どもも、一度も動物に触れたことがない子どももいますが、動物愛護教室では、さまざまな環境で育った子どもたちが、みんな一緒に勉強します。

その中でもみんなの表情が一段と輝いたのは、センターで飼育されている、うさぎたちとの触れ合いの時間でした。聴診器による心音の聴取り体験は、早く順番が回ってこないかなあと、目をキラキラさせて待っていました。初めて抱っこするうさぎはフワフワで可愛く、心臓の音は「ドンドン」と太鼓のように聞こえたようです。

限られた短い時間でしたが、終わったときには、笑顔で「楽しかった～」と感想を言ってくれました。

動物愛護教室で小さなうさぎに触れたときに感じたぬくもりと心臓の鼓動は、子どもたちの手と耳に伝わり、心に響く体験になったことでしょう。



▲うさぎの心音を聞く子どもたち

いっぱい勉強したね！
ぼくは、みんなと仲良くしたいんだよ

まちで会ったとき
触れる前に飼い主さんに声をかけてね！

わたしの心臓が動いている音が聞こえた？

心音の聴き取り体験で活躍しているうさぎちゃん

体は小さいけど命があるんだよ！

上から大きな声でしゃべりかけられると怖くなつて「ワン！」とぼえちゃうかもしないよ。

寝ているときやごはんを食べているときは、そっとしておいてね。

だっこしたとき温かかったでしょ。

きみがされていやなことは動物にもしてはいけないよ。大切にしてね！

▲ 犬との接し方の学習で活躍しているララちゃん

▲ 動物愛護教室の様子 ▲

お勉強中

△ 寄せられた子どもたちの感想

子ども向け動物愛護教育の教材

近年、人と動物との関わりがより深いものとなっている中、子どもの頃から「動物との正しい関わり方」や「命の大切さ」について考えることは、情操教育や人格形成の基盤づくりとして非常に重要となっています。

京都市と京都府では、「人と動物が共生できるうるおいのある豊かな社会」の実現に向け、動物愛護に関する教育のための教材「いきものとなかよし」を作成し、幼少期における教育に活用しています。教材は、御家庭などでも活用しているだけの内容となっています。

教材のひとつ●5つのやくそく

「京都動物愛護憲章」についての理解を深め、憲章を通じて、子どもたちに動物愛護の本質である「動物をかわいがり、大切にすること」について伝えます。



子ども向け動物愛護教育の教材は、京都動物愛護センターのホームページからダウンロードしていただけます。

京都動物愛護憲章はこちらから。

<http://kyoto-ani-love.com/>



動物愛護を…もう一度考える

動物の気持ちになって思いやる心は、幼いころに体験した「動物愛護教室」で芽生えることもあります。きちんと学ぶことにより、人と動物の関わりは、より良いものになっていきます。動物が好きな人は、正しく飼うことを意識してください。犬の散歩の際、ウンチを放置したままにしたり、猫を放し飼いにして、ウンチやオシッコの臭いなどで御近所に迷惑をかけていませんか。また、周辺に迷惑がかかるような動物への餌やりなど、ルールを守らない独り善がりの行いは、かえって動物を嫌いになってしまいます。

これからペットとの暮らしを始めようとご検討の方へ

飼おうと思っている動物の寿命を知っていますか？動物が大切な命を終えるまで、一緒に暮らせる時間は十分にありますか？おうちに迎えた小さなワンちゃん、ネコちゃんは、理由も分からず夜中に鳴くかもしれません。オシッコのしつけがうまくできなくて、悩むことになるかもしれません。突然、ケガをしたり病気になることもあります。動物病院で診察してもらえる経済的な余裕はありますか？飼い主として、ペットに何が起こっても支えてあげる心構えはありますか？ペットと暮らしている方は、改めて動物とのきずなを大切にすることを忘れないようにしてください。

しっかりと子どもたちの心に刻まれた動物愛護教室での体験を周りの友達や家族に話すことで、多くの人に動物愛護について知つてもらい、人にも動物にも心地よいまちになるきっかけになればいいですね。（5期 山本恭子）

「動物愛護教室」の開催を希望される小学校は、府下各市町村教育委員会にお申込みください。

なお、京都市内の小学校等が対象の「きょうとアニラブクラス」については、京都動物愛護センターまでお問い合わせください。（☎075-671-0336 木曜日休所）

爪切りは必要ですか？



▲ 犬の狼爪（ろうそう）は地面に触れない部分、伸びやすいので注意。

犬でも猫でも、爪が伸びすぎると肉球に食い込んだり、何かに引っ掛けで爪が折れたり、ケガをするおそれがあります。

また、人も引っかかれた傷が原因で病気になりますので、犬猫の定期的な爪切りは必要です。

犬の場合、爪は散歩などで削れるのであまり伸びない子もありますが、定期的にチェックしましょう。

猫の場合、爪とぎで古くなった外側の層の爪は剥がれます。爪はとがったままなので、定期的なケアが必要です。



▲ 猫の爪は尖った先端だけ切ればOK。

動物病院でも爪切りをしてもらえますか？

動物病院やペットサロンでも爪切りをしてもらえます。御家庭での爪切りが難しい場合はお願いしましょう。（atk）



爪切りの際、犬猫が暴れないようにするにはどうすればいいですか？

日頃から足先に触れ、慣れさせることが重要です。爪切りの後に御褒美としておやつをあげることも効果的です。

猫の場合、大きめのタオルなどで体全体を包んであげると、おとなしくなることが多いです。

爪切りをして犬猫が出血した場合はどうすればいいですか？

軽い出血であれば清潔なガーゼや綿棒で出血部分をしばらく圧迫すれば、止血できます。出血がひどい場合は、動物病院に相談しましょう。

センターニュース

2019.3.23

3期ボランティア卒業式・名誉センター長 基調講演

ボランティアスタッフとして平成28年春から活動してきた3期生の卒業式が3月23日（土）に行われました。

名誉センター長の杉本彩さんから、感謝の言葉と共に感謝状と記念品が手渡され、皆さん感慨深い表情に。

卒業式に続き、名誉センター長による基調講演「災害時に起きたこと」が行われ、2011年の東日本大震災



▲ 3年間、ありがとう！

の被災地で起きた様々なことについて語られました。

警戒区域に残された被災動物たちの無残な写真を目の当たりにし、涙する人も…。

この3.11の震災以降も各地で様々な災害が起こっています。

同じ悲劇を繰り返さないために、私たちに出来ることを考え、取り組んでいこうと改めて感じました。（Y・N）

ペットのためのマナー&ルール

犬のお散歩マナー ～リード編～

愛犬との楽しい散歩。広い場所をリードなしで「思い切り走らせてあげたい！」と思うことも。

しかし、公共の場所には、犬が苦手な人もいます。「うちの子は大丈夫。」そんな思い込みが人のトラブルを招いたり、愛犬を交通事故などの危険にさらしてしまうことに。

リードの着用は条例で義務付けられています。愛犬の身を守るためにも、体格に合う首輪やハーネスを選び、適切な長さのリードをつけて、マナーある散歩をしましょう。（y.m）



▲ 被災地の動物たちについて語る名誉センター長